

# 会派行政視察報告書

会派行政視察における調査結果について、下記のとおり報告いたします。

令和2年3月19日

光市議会議長 西村憲治様

光市議会会派『新風会』

代表 河村龍男

議員 岸本隆雄

## 記

- 1 視察年月日 令和2年1月28日～30日（2泊3日）
- 2 調査市等 東京都小平市、埼玉県加須市、白岡市、東京都稲城市
- 3 調査結果 別紙のとおり

## 新風会視察報告書

日時	令和2年1月28日（火） 14:00～15:30
調査市名	東京都小平市
テーマ	「ごみ問題について」（ステーション方式から戸別収集へ）
概要	<p>多くの地域において、ゴミ出しマナーに関するトラブルの発生や、ごみステーションの管理に係る負担が一部の方に偏っているなどの課題もあり、市にも数多くの相談や課題の解決への要望が、年々多くなってきた。</p> <p>その為、市としてはごみステーションの利用に係る課題の解決を優先し、戸別収集への移行を提案する。</p> <p>家庭ごみ、有料化による手数料水準については、ごみの減量効果、市民の受容性、近隣自治体の水準との均衡の3点を考慮し、3年間をかけて設定した。</p> <p>市民の受容性については、市民アンケートの結果では、1世帯当たり受容可能な負担額にについて、月額で300円以上、500円未満との回答が、最も多かった。</p> <p>導入後、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ごみの減量化が、進んだ。</li> <li>* 街の美観がよくなった。</li> <li>* 市民からの苦情がなくなった。</li> <li>* 分別マナー違反が、減少。</li> <li>* 不当投棄が、無くなった。</li> </ul> <p>など「課題が、うまく解決できた。」とのことでした。</p>
所感	<p>本市において、全てのゴミの戸別回収は、難しいかも知れませんが黄色のゴミ袋（梱包用ビニール）と透明のゴミ袋（可燃ゴミ）だけでも戸別回収が出来れば、高齢者のゴミ出し負担が軽くなり、自治会ごみ当番の方の仕事も、軽減されるのでは無いでしょうか。</p>



日時	令和2年1月29日（水） 9：30～11：30（加須市） 14：00～16：00（白岡市）
調査市名	埼玉県加須市、白岡市
テーマ	「デマンド型乗合タクシー」について
概要	<p>『背景—現状と課題』</p> <p>住民の移動手段の確保のために、地方自治体が運行するコミュニティバスは、路線バスの廃止に呼応する形で徐々に増加し、全市町村の90%が運行するに至っています。</p> <p>しかし、コミュニティバスの拡大は、自治体の財政負担の増大を招くことになり、コミュニティバスを確保、維持していくことが困難な地域が発生してきたため、ここ数年、財政負担の軽減や公共交通空白地域の解消に向け、路線定期型交通に替えて、デマンド型交通を導入する自治体が増えてきました。</p> <p>デマンド型交通は、路線定期型交通と異なり、運行方式、運行ダイヤ、発着地の自由度の組み合わせにより様々な運行形態が存在します。</p> <p>デマンド型交通の特徴や分類を整理するとともに、すでに、デマンド型交通を導入している自治体や運行を請け負っている交通事業者が、直面している問題や課題を研究し、導入にあたって慎重に検討する事が大切です。</p> <p><b>【加須市の場合】</b></p> <p>市街地の重要路線は、循環バスが運行し、周辺の重要路線は、シャトルバスが運行し、周辺の普通の路線は、「デマンド型乗合タクシー」が運行しています。これほどの行き届いた市民交通は、他の自治体では マネの出来ない運行事業だと思えます。事業費は、約1億円です。運賃は、循環バス100円。シャトルバス200円。タクシー300円です。</p>   <p><b>【白岡市の場合】</b></p> <p>人口52、000人、一般会計予算144億円と本市の規模に類似しています。</p> <p>2台のデマンド型乗合タクシーを、事業費1、750万円で運行しており、会員登録者数は、約4、500人（人口の13%）です。</p> <p>運賃は、500円で、乗合する人が有れば、300円になります。</p>

所感	<p>現在、本市には、大和地区を巡回する市営バス、室積、伊保木地区のコミュニティ交通がありますが、それぞれに課題があると思います。</p> <p>『利点』</p> <p>バス停まで歩かなくても良い。</p> <p>雨降り、寒い時、熱い時も大丈夫。</p> <p>荷物があっても大丈夫。</p> <p>待ち時間が短縮。</p> <p>運賃が安い。など、課題が解決できます。</p> <p>また、小周防、三井地区についても、何らかの形で運行を考えなければならないのでは無いでしょうか。</p> <p>そろそろ「デマンド型乗合タクシー」の出番では無いでしょうか。</p>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

日時	令和2年1月30日(木) 9:30~11:30
調査市名	東京都稲城市
テーマ	2030年の稲城を描く市民会議について
概要	<p>第四次稲城市長期総合計画が令和2年度をもって期間を満了することから、稲城市では、平成30年度より3年をかけ、新たに令和3年度以降を計画期間とする第五次稲城市長期総合計画の策定に取り組んでいます。</p> <p>その計画を策定するにあたり、2030年度に稲城市がどのような街になってほしいか、どのようなまちに住んでいきたいのか、その将来像を市民の視点で自由に語り合ってもらい、提言していただくために会議体を計画しました。</p> <p>参加者の応募に当たっては、市内在住・在勤・在学の16歳以上を対象に公募、23人の参加者を決定する。</p> <p>平成30年8月2日から令和元年6月28日までの間、会議を14回開催した。</p> <p>「会議の進行役」  全体会議は、担当課長若しくは、コンサルタント受託業者が司会進行した。</p> <p>「テーマ別のグループ討議」  各グループにファシリテーターとして受託業者が入り、司会進行した。</p> <p>「会議の取りまとめ」  会議で話し合った内容を行政がとりまとめ、意見を反映させた案を、次回以降の市民会議へ提示して議論に付した。多数決は行っておらず、話し合いの中で取りまとめた。</p> <p>令和元年6月に、市長に「わたしたちが描くまちの姿」を手渡しました。</p> <p>内容は、10の暮らしたい街を通して見えてきた3つの姿を、順序良くまとめてありました。</p> <p>市民の提言書ですので、行政が作成する計画書とは形式は違いますが、内容は、福祉・経済・教育・観光・市民などが、盛り込まれています。</p> <p>素晴らしい内容です。</p>
	 
所感	市民の描く将来の稲城市。シビックプライドの精神が満ち溢れ誰もが楽しく、快適に暮らせる街が、誕生しているでしょう。